

保管牧草およびホダ木の本格焼却を実施します

東京電力福島第一原発事故による放射性物質の影響により、市内の畜産農家やしいたけ生産者が敷地等に長期間にわたり保管している牧草、ホダ木については、腐敗等が進行し、生産活動に支障をきたす状況でしたが、全額国費による処理が決まったことから、7月の5日間、焼却処理を行うための試験焼却を実施しました。

この結果、放射性物質等の測定値は、全ての項目が基準値以下であり、焼却前と比べて変化が見られず、安全性が確認されたことから、処理対象物全ての焼却処理を実施します。

なお、本格焼却の際も、安全性確認のための検査を引き続き実施します。

1 本格焼却について

(1) 実施期間 8月24日(月)～平成28年2月

(2) 焼却施設 今泉工場、葛岡工場、松森工場

(3) 処理対象物

①牧草 約304.5トン(611ロール)、約4.5トン/日(9ロール)

②ホダ木 約225トン(約34,430本)、約4トン/日(約570本)

(4) 安全性確認

搬出時の空間放射線量をその都度測定します。清掃工場における灰および空間放射線量は週1回、排ガスおよび放流水は月1回検査を実施します。

(5) 結果の公表

検査結果については、月1回、仙台市のホームページにて公表します。

2 試験焼却の概要

(1) 実施期間 7月13日(月)～17日(金)(5日間)

(2) 焼却施設 今泉工場、葛岡工場、松森工場

(3) 処理対象物

①牧草 15.7トン(45ロール)

②ホダ木 21.2トン(2,740本)

(4) 処理方法

通常の廃棄物との混焼により実施

処理に当たっては、放射性物質汚染対処特別措置法等の関係法令を遵守。搬出に際しては、積み込んだ牧草、ホダ木をシートで覆うなど運搬時の飛散防止に留意して実施。

3 放射性物質等の測定結果および評価

(1) 搬出時の空間放射線量

仙台市街地の空間放射線量と同程度であることを確認

①牧草 0.03～0.08 $\mu\text{Sv}/\text{h}$

②ホダ木 0.02～0.04 $\mu\text{Sv}/\text{h}$

※試験焼却期間中の仙台市役所の空間放射線量 0.066～0.072 $\mu\text{Sv}/\text{h}$

(2) 清掃工場における空間放射線量および放射性物質濃度

①清掃工場の敷地境界および灰積出場における空間放射線量

0.03～0.07 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ と、試験焼却前後と違いはありませんでした。

②清掃工場からの排ガスおよび放流水の放射性物質濃度

試験焼却時、その前後とも全て「不検出」でした。

③灰の放射性物質濃度

試験焼却前後と比べ同程度であることから、通常のごみとの混合焼却が適正に行われていること、また国の定める基準値(8,000 Bq/kg)以下であることを確認しました。

	試験焼却前 (7/8～10)	試験焼却期間中* (7/14～18)	試験焼却後 (7/21～23)
今泉工場	178	139 (110～235)	159
葛岡工場	190	171 (155～183)	162
松森工場(集じん灰)	366	358 (320～385)	280
松森工場(焼却灰)	69	59 (48～66)	64

※平均値。カッコ内は測定値の範囲を表示(単位: Bq/kg)